

競 技 上 の 注 意

審判長 松本 定則

1 ボール及びボールの選択について

- (1) ボールは、白色スリースター・40mm プラスチック球【ニッタク(プレミアムクリーン)、VICTAS(VP40+)、バタフライ(R40+)】を使用する。
- (2) 試合ボールは、審判員が持参したボールケースの中から審判員が無作為に選ぶ。

2 ラバー、ラケットについて

- (1) ラバーは、ラケット本体より大きかったり、小さかったりしないこと。
- (2) 外国製ラケットで、JTAA のマークのないものを使用する場合には、あらかじめ試合前に審判長の許可を受け、試合の際は発行された許可証を携行すること。
- (3) ラバーには、(公財)日本卓球協会が公認したことを示す JTAA または、ITTF 公認のロゴがなければならない。
- (4) ラバーの後加工など、ルールに反する行為は厳に慎むこと。また、表面が均一でないラケット、ラバーの厚さが規定を超えるラケットは使用してはならない。

3 接着剤の使用について

- (1) ラバーの接着剤は、(公財)日本卓球協会が公認した接着剤あるいは PSA シートを使用しなくてはならない。
- (2) 接着剤を使用する場合は審判長に申し出て、指示された場所で行うこと。

4 服装について

- (1) 競技服装は、(公財)日本卓球協会(赤ワッペン)のものであれば、どのような色でもよい。黒ワッペン、白ワッペンのうち主たる色が白のものは着用できない。ベンチ内では、監督・アドバイザー・選手は白いトレーニングウェアやシャツなどの着用を避けること。
- (2) 同一チームの選手は、靴及び靴下を除いて同一の服装で競技しなければならない。
- (3) 対戦する選手は、互いに区別できる程度に異なった服装で競技しなければならない。
- (4) ゼッケンは、2025 年度の(公財)日本卓球協会指定のものを着用すること。

5 競技の継続とマナーについて

- (1) 競技者・監督・アドバイザーは、相手に対して不当な影響を与え、観客に不快感を与え、または、そのゲームの評判を落とすような癖や態度を慎まなければならない。
- (2) 競技者・監督・アドバイザーのバッドマナーに対しては、競技ルールに従ってペナルティの対象となる。
- (3) みだりに競技の遅延行為をしないこと。

6 その他

- (1) 6月21日(土)の学校対抗1回戦のオーダー提出は、1ターン目13:30、2ターン目14:30とする。
- (2) 6月22日(日)の学校対抗1回戦のオーダー提出は、男女とも8:20とする。以後は試合開始予定の20分前を原則とするが、その時間に対戦相手が未定の場合は相手が決まり次第提出すること。あらかじめオーダー用紙に出場順を記入して、3枚複写全てを提出する。
- (3) 試合のコールはしないので直接ベンチに入ること。ベンチは体育館本部席向かって左側を若い番号のチームとする。
- (4) 学校対抗のベンチに入れるのはプログラムに登録された監督・選手8名に限る。
- (5) 選手紹介およびあいさつ後のミーティングはしない。(整列・あいさつ・1番2番がコートに入る)
- (6) ゲーム間・タイムアウト中のアドバイスはベンチにいる監督・選手からに限る。時間は1分以内を厳守すること。
- (7) 全ての試合を、原則として2台使用で行う。その時、ダブルスと同時に可能な4番の試合を行う。4番、5番の試合で5番が早く終わった場合は、3-1として試合を終了させる。
- (8) 前の試合が早く終わり、対戦が可能な場合はタイムテーブルを早めて試合を開始する。
- (9) 進行状況の遅れ等により試合コートの変更をすることがある。また、試合進行がタイムテーブルより大幅に遅れて試合に入る場合、1試合を4コートで行うことがある。その場合、ダブルスを最初に行う。
- (10) 競技領域およびベンチで携帯電話やタブレットを使用しての通話・通信を禁止する。
- (11) シューズの裏を拭くための雑巾などはベンチ付近に置く。床には直接置かず、よく絞ってからビニール袋などを敷いた上に置くこと。ゲーム間、タイムアウト中のみ使用できる。
- (12) 無作為にラケット検査を行うことがある。
- (13) 個人戦(ダブルス・シングルス)のアドバイザーのベンチ入りについて
 - ・アドバイザーの資格は、大会申し込み時にエントリーされた監督、または当該校の選手1名に限る。
 - ・アドバイザー(1名)は、試合開始時に選手とともに競技場に入場する。
ただし、他のコートでアドバイスをしていた場合は、試合途中に空席のベンチに入ることができる。
 - ・アドバイザーが試合の途中で交代することはできない。また、アドバイザーは試合途中でコートを離れてもよいが、以後はコートに復帰できない。1名で同時に複数のアドバイザーを兼ねることはできない。